

8/

渋谷ヒカリエの8階にある、クリエイティブスペース「8/ (ハチ)」。  
かつてこの地にあった、「東急文化会館」のDNAを受け継ぎ、  
六本木や、銀座や、青山にはできそうもない現象をつくるために、  
2012年4月、このスペースは誕生しました。

誕生から7年。

このアクティビティレポートでは、ひとつの節目として  
8/で生まれた取り組み、8/ならではの場面、8/を支える人たちに注目し、  
これまでの様々な活動の軌跡をご紹介します。

これからの8/を一緒につくりあげていくみなさまと、  
これからの8/を楽しみにして下さるみなさまの、  
一助となれば幸いです。

<b>Concept</b>	<b>4</b>
<b>Floor Guide</b>	<b>5</b>
<b>Activity Report</b>	
<b>01 / COURT</b>	<b>6</b>
<b>02 / CUBE</b>	<b>10</b>
<b>03 / ART GALLERY</b>	<b>14</b>
<b>04 / d47 MUSEUM</b>	<b>18</b>
<b>05 / d47 design travel store</b>	<b>22</b>
<b>06 / d47 SHOKUDO</b>	<b>26</b>
<b>07 / Creative Lounge MOV</b>	<b>30</b>
<b>08 / TV</b>	<b>34</b>
<b>/ SHIBUYA WANDERING CRAFT</b>	<b>36</b>
<b>Data</b>	<b>38</b>
<b>Voices</b>	<b>39</b>
<b>Archives</b>	<b>40</b>

人と人をつなぎ、新しいクリエイションの可能性を探る場所となる。

「8」に集まる人々は、これらのキーワードを意識して活動を行います。

## 1. シブヤらしいこと

突出したリーダーを立てるよりも、多くのクリエイションが混ざり合い新しさを生むスタイル。

## 2. 続けること

みんなの場所として継続していくルールをつくり、クリエイターの普段になるようにします。

## 3. キュレーション

フロアの企画のひとつひとつを、時代に照らし合わせてキュレーションしていきます。

## 4. 交流すること

様々な発想を持つクリエイターの交流を応援します。場としての集まりやすさを考えます。

## 5. コミュニティ

人が人を連れてきやすいように、そういうつながりを大切にしていきます。

## 6. 編集していくこと

ただ情報を展示するのではなく、このフロアならではの編集で新しいビジョンを提示します。

## 7. 具体的にする

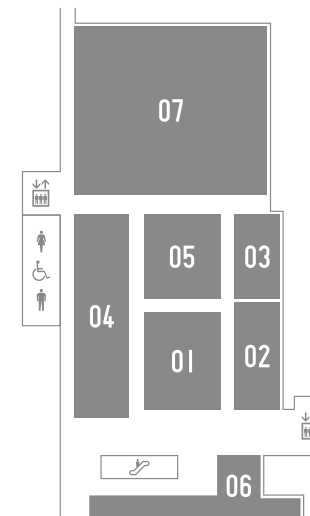
コンセプトに終わらず、必ず見える状態まで、買える状態までをゴールとします。

## 8. 人を育てる

世代に関係なく交流し、常に人を育てる発想で取り組みます。

クリエイティブスペース「8」

「8」では、多目的に使える「COURT」を中心に、強い意志を持ったコミティメンバーが集まり、ギャラリー、ショップ、カフェ、シェアオフィスを運営しています。  
 渋谷らしいこと、交流すること、続けること、編集していくこと、人を育てること…。  
 これらのキーワードを意識して、ゆるやかに重なり合い、つくられていく力に、  
 クリエイションが響き合い、サロンのように人々が集まる場所を目指しています。



## 01/COURT

渋谷らしい交流のために開かれたイベントスペース

## 02/CUBE 1, 2, 3

様々なクリエイターが登場するギャラリースペース

## 03/ART GALLERY

小山登美夫ディレクションの現代アートギャラリー

## 04/d47 MUSEUM

47 都道府県のデザインミュージアム

## 05/d47 design travel store

47 都道府県のデザイン物産ストア

## 06/d47 SHOKUDO

47 都道府県の定食屋レストラン

## 07/Creative Lounge MOV

これからの働き方を実践するメンバー制コワーキングラウンジ



MONSTER Exhibition 2013—2018 —新しい“Kaijyu”展—  
 ●会期: 2013年2月22日—27日 / 2014年3月8日—12日 / 2015年6月4日—8日 / 2016年9月3日—7日 / 2017年7月14日—18日 / 2018年7月21日—25日  
 ●来場者数: 累計33,200人 ●主催: MONSTER Exhibition事務局 (一般社団法人イヴォルフアート&デザインジャパン)  
 photo by 鳥村朝一



JAPAN BRAND FESTIVAL  
 ●会期: 2018年3月2日—3月4日 ●来場者数: 約2,200人 ●主催: JAPAN BRAND FESTIVAL実行委員会

## つながり、発信する、クリエイティブの集会所

フロアを中心に位置する、イベントスペース「COURT」。グリーンカーペットが印象的でオープンな空間は、緩やかにフロア全体へつながりを演出します。これまでに開催された約900の企画を通して、様々な分野の若い才能や社会に向けた新しい取り組みが、展示やワークショップ、トークやマーケットなどの形式でここから発信されてきました。さらに、作り手と使い手、個人と社会、地域と東京など、この場所で生まれた多くのつながりが、新たなプロジェクトの種となり、「COURT」から渋谷、そして世界へと拡がりはじめています。これからも「クリエイティブの集会所」となることを目指し、様々な活動を支援していきます。



## 02/CUBE 1,2,3



TOKYO-GA meets SHIBUYA 2018 TOKYO CURIOSITY  
●会期: 2018年1月2日-1月8日 ●来場者数: 約2,500人 ●主催: NPC東京画  
© Satoshi ASAKAWA / TOKYO-GA



大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018 開幕直前展  
●会期: 2018年6月5日-6月17日 ●来場者数: 展覧会1,887人/トークショー370人(会期中5日間開催) ●主催: 大地の芸術祭 実行委員会

### さまざまな表現に挑戦するリースギャラリー

ディレクションされた展覧会向けのリースギャラリー「CUBE」。約100㎡の空間は、シンプルな展示から、隣りあうイベントスペース「COURT」を含めた一体的な企画展開まで、幅広い演出のできるギャラリーです。年間を通じた企画公募により、開館から約220の企画が開催されてきました。アート・工芸作品の展覧会をはじめ、建築・ファッション・プロダクトなどデザイン分野のプレゼンテーションやポップアップ販売、地域の伝統・文化・ものづくりに関するプロモーションなど、「8/」ならではの、ジャンルにとらわれない様々な表現に挑戦し続けてきたことで、いつ訪れても新鮮な発見がある場所として認知されるようになりました。



## 長崎 みかわち焼展

### 江戸から現代に至る、みかわち焼の名品と技を紹介

みかわち焼、および産地の魅力を知っていただくためのPRの場として、主に江戸から現代に至る代表作を展示しています。江戸時代には平戸藩藩主のために、明治以降は国内外の富裕層に向けたやきものをつくってきましたが、20世紀以降は知人ぞ知人という存在になっていました。2012年より毎年、テーマを変えながら様々な技法を覚えていただけるような展示を行ってきました。作品解説のトークショー、動画、さらには簡易の工房を設け実演し、そこでつくった作品を翌年に展示しています。「COURT」会場では現代の窯元による1,000種類の豆皿を展示販売し、歴史と現代を楽しんでいただける構成としています。

●会期: 2012年より秋に開催 ●来場者数: 約2,000人 ●主催: 三川内陶磁器工業協同組合 ●空間デザイン: 日置拓人 / グラフィックデザイン: 松田行正+梶原結実



## ザ・トルマン コレクション展

斎藤清の一作品からはじまった、トルマン氏のコレクター人生

### 棟方志功、恩地孝四郎、斎藤清。ニッポン木版画の魅力を発信

江戸の浮世絵から近代の創作版画、そして現代作家の活躍にいたるまで、世界でもまれにみる木版画大国、日本。国境を越えて見る人を魅了し続けています。本展では、世界的な美術コレクターであるノーマンH・トルマン氏の珠玉のコレクションを通じ、斎藤清をはじめとする日本現代版画の名品を紹介しました。今見ても斬新なイメージ、ほかしゃ木目のマチュールを活かした大胆かつ繊細な描写は、海外客や若い人々を中心に多くの人の心をつかみ、新たなフォロワー層を広げています。これからも、ここ渋谷ヒカリエから、「ニッポン木版画」の魅力、国内外の幅広い世代に向けて発信していきます。

●会期: 2018年12月4日-12月16日 ●来場者数: 6,366人 ●主催: 斎藤清美術館 ●展覧会カタログ: 「The Tolman Collection」 / 発行・編集: 斎藤清美術館 ※非売品



New Spot Prints  
●会期: 2012年4月26日—5月28日  
©Damien Hirst  
photo by Keizo Kioku  
Courtesy of Tomio Koyama Gallery



ベルント・フリーベリ 展  
●会期: 2012年8月8日—8月27日  
©Berndt Friberg  
photo by Kenji Takahashi  
Courtesy of Tomio Koyama Gallery

### ジャンルを超える新しい試みの場所

渋谷ヒカリエ「8/」の「ART GALLERY」では、様々な試みをしました。小山登美夫ギャラリー自体が扱っているファインアートという一つの美術のジャンルがあるのですが、そこは違うとちょっと思われている陶芸の作品や映画監督の版画作品などを、ときどき刺激のともなった展覧会として開催して、彼らの美学を伝えようとしてきました。アートは人間のもつ自然とその生活が基本つながっているから、魅力的なのであって、視覚、触覚にともなう思考、感情をダイレクトにつなげていくことが、様々な展覧会をすることで、実現できたと思います。若手のアーティストから歴史的なアーティストまで、ジャンルを問わずできるのがこの場所の魅力です。



デヴィッド・リンチ 展  
 ●会期: 2014年6月25日-7月14日  
 ©David Lynch  
 photo by Kenji Takahashi  
 Courtesy of Tomio Koyama Gallery



陶芸家8人展  
 ●会期: 2015年8月5日-8月17日  
 ©Yuko Okazaki, Kentaro Kawabata, Takuro Kuwata, Kenji Gomi, Adam Silverman, Taro Tabuchi, Akio Niisato, Masaya Yoshimura  
 Courtesy of Tomio Koyama Gallery



中園孔二 展  
 ●会期: 2014年7月16日-8月4日  
 ©Koji Nakazono Courtesy of Tomio Koyama Gallery

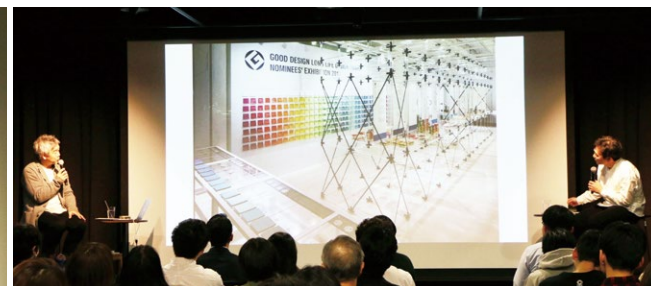


涌井智仁 展「nonno」  
 ●会期: 2016年8月10日-8月31日  
 ©Tomohito Wakui  
 Courtesy of Tomio Koyama Gallery



#### 47 都道府県のつくり手たちの交流場

47の展示台を常設し、日本の伝統工芸や物産、観光やローカルフード、若い世代によるクリエイションやコミュニティデザインまで、日本で唯一の47都道府県のものづくりの今を俯瞰で眺められるミュージアムです。開館から2018年まで23の企画展を開催。47の様々な日本の文化をリサーチし、展覧してきました。企画内容に連動し、出展者を招いてのワークショップやシンポジウムを開催、販売可能な出品品は販売を行うことで、来場者が参加や購入という形で出展者の活動に共感し、応援する機会を創出しています。また、全国から同じテーマで活動を行う出展者が一堂に会し、技術や経験の交流を行うことで、地域での新たな活動が生まれています。



## デザイン物産 2014

### 日本のものづくりの進化を見つける

47の都道府県から「伝統的工芸品の原点」と「それらがリ・デザインされた新物産」、また「長くその土地に続く伝統的な食品」と「それらが進化した事例」を集め、47台の展示台に並べて、日本のデザイン物産の今を眺め検証する企画展を開催しました。流行表現に終わらない真っ当なり・デザインの在り方を俯瞰することで、昔からあるデザインは、どう新しく変えていくべきなのか、つくり手やデザイナーが挑むべき方向が見えてくる企画となりました。原点と進化の全188点の出品品を掲載した公式図録を制作し、日本の物産デザインの今をアーカイブした資料性の高い書籍の出版を行いました。

●会期: 2014年8月7日-10月19日 ●来場者数: 約40,000人 ●企画: ナガオカケンメイ ●展覧会公式図録: 『デザイン物産 2014』 / 著者: ナガオカケンメイ, D&DEPARTMENT PROJECT / 発行: D&DEPARTMENT PROJECT

## LONG LIFE DESIGN - 1 47都道府県の健やかなデザイン展

### これからの時代のデザインの在り方について考える

2018年最後の展覧会として「ロングライフデザイン」をテーマに開催しました。流行とデザイナーの名前を借りて生まれてきた「デザイン」が、長く使われ続けているすべての背景を包括した意味に変わってきている現在、「デザイン」は「ロングライフデザイン」に変わってきているともいえる状況が生まれています。プロダクト、食品、音楽、活動など、ジャンルにとらわれず、長く続くその土地らしいデザインを47都道府県から選定し、一堂に展覧することで、そこから見てきた「これからのデザインに必要なこと」を提示しました。この企画展は2年に1度、日本を定点観測するように定期的に開催を続けていきます。

●会期: 2018年12月7日-2019年3月4日 ●来場者数: 約20,000人 ●企画: ナガオカケンメイ ●展覧会公式書籍: 『LONG LIFE DESIGN 1 47都道府県の健やかなデザイン』 / 著者: ナガオカケンメイ, D&DEPARTMENT PROJECT / 発行: D&DEPARTMENT PROJECT



### その土地らしい日本のものづくりを伝える

トラベルガイドブック『d design travel』編集部が日本全国取材する中で出会ったものづくりや、そのつくり手との関係性をつなげ、その土地ならではの文化を紹介するショップです。生産者が来店し、お客様と直接対話する特別受注会や、生産者の思いや技術、歴史、暮らしへの取り入れ方やお手入れを学ぶ勉強会やワークショップを開催し、商品の背景にある産地の魅力を伝え、実際にその土地に旅するきっかけを生み出しています。店内に展示される道具や建具は取材先より譲り受けた、実際に使用されていた唯一無二なものばかり。全国のデザイン観光情報を常にアップデートしながらファイリングし、日本全国のデザイントラベル情報を提供しています。



## d SCHOOL 「わかりやすい漆」

### 「使い手」と「つくり手」をつなぐ学びの場

日本一の漆の産地である岩手県二戸市浄法寺より「滴生舎」の塗師や漆掻き師をお迎えし、一日を通して漆、漆器、産地を知る勉強会を開催。漆を知るワークショップでは、実際に漆を採取する体験や貴重な浄法寺産の漆を使った箸塗りの体験を行ない、漆器を知るワークショップでは、「滴生舎」の漆器を使用した「岩手定食」を食べながら、漆器の工程や手入れ・修理方法を学びました。最後は産地を知るトークイベント。二戸市職員が加わり、浄法寺漆の歴史や現状、二戸市の取り組みなどの話を伺いました。漆器を身近に感じ、長く使い続けられると購入される方、現地に行きたくなくなったという方もいらっしゃいました。

●会期: 2018年12月1日 ●参加者数: 37名 ●協力: 岩手県二戸市



## d47 MARKET 「宮崎のお茶を伝える白玄堂の新茶」

### 「つくり手」の想いを共有・共感する場

生産者やつくり手が直接店頭販売する「d47 MARKET」。渋谷ヒカリエオープン以来、毎年6月は、宮崎茶専門店「白玄堂」の新茶を販売しています。店主の白尾尚美さんは、自ら仕入れた新茶を独自で調合、その年にしか味わえないお茶を店内にいるお客様一人ひとりに振る舞い、茶葉生産者の想いを伝えながら販売。お客様の声に耳を傾け、茶葉の種類や淹れ方による味の違いなど、お茶に関する疑問質問を丁寧に答えてくださいます。ペットボトルで気軽にお茶が飲める現代において、急須でお茶を淹れる楽しみに気づく若い世代も。白尾さんと新茶を待ち望むお客様が年々増え、ファンになった方が毎年何組も現地宮崎を訪れています。

●会期: 2012年より毎年6月に約2週間開催 ●協力: 白玄堂



## 47 都道府県の郷土の味と文化を伝える

47 都道府県の個性とらしさを「食」から考える定食屋です。デザイントラベルガイドブック『d design travel』の取材を通して出会った方々から仕入れた、四季折々の、その土地ならではの食材を使い、地域の文化や歴史、つくり手の想いがこもった郷土の味をひとつの定食にして、「おいしく正しい日本のご飯」を提供しています。コーヒーも月替りで各地の焙煎家を紹介、国産ワインやジュースの飲み比べも行っています。生産者を招いての勉強会やワークショップを定期的で開催し、良い食について考えるとともに、47 都道府県の個性を伝えています。

左上から ● 岐阜定食 ● 岩手定食 ● 愛知定食 ● 京都定食 ● 群馬定食 ● 山形定食  
 ● 大分定食 ● 埼玉定食 ● 静岡定食 ● 滋賀定食 ● 奈良定食 ● 千葉定食  
 photo by 安永ケンタウロス



## こども d SCHOOL 「本当においしいりこ」

### 本当においしい、を親子で考える

各地の食の生産者に「本物の味、真っ当な食を伝えていくために、私たちは何が出来るでしょうか?」と質問すると、「まず、こども達に本当においしいものを食べてもらうことです」という答えが返ってきました。その言葉をきっかけに、本当においしいものが、日本からなくなってしまうように、こどもと親の「本当においしい」を学ぶ場をつくりました。大人も知らない本物のおいしさの理由を、紙芝居や映像を使い、試食や試飲、実演を交えて親子で楽しく学びます。勉強会の最後には、その日につくった出汁を使った料理を皆で食べて、本物のおいしさを体験し、家庭でも試し、続けてもらえるようにしています。

●会期: 2017年7月22日 ●参加人数: 親子10組 ●協力: やまくに

## 良い食品博覧会 2016年－2018年

### 本当に良い食について学び、伝える

良い食品博覧会は安全でおいしい食品を次の世代につなげるために、生産者、販売者、消費者が同じフィールドに立ち、活動を続ける「良い食品づくりの会」が毎年開催するイベントです。約200アイテムの認定品が揃い、生産者自らが説明し、販売を行います。「d47食堂」はこの博覧会の開催期間の2日間は「良い食品食堂」となり、特別メニューを提供。また食の安心、安全、おいしさをつくり手から学ぶ「食の語り部」講座を企画し、試飲や試食を交えながら「良い食とは何か」を考え、正しい食の選び方を、食のつくり手たちとともに学び、伝えています。

●会期: 2016年より毎年5月に2日間開催 ●来場者数: 累計約15,000人 ●共催: 良い食品づくりの会



### 多種多様なメンバーが出会い、つながるワークラウンジ

「Creative Lounge MOV」は、コクヨ株式会社が直営する唯一のメンバー制ワークスペースです。空間を提供するだけでなく、年齢、国籍、仕事内容も異なるメンバーと豊かなコミュニティを育むことを目的に運営しています。作業や打合せに利用可能なミーティングルームや、時間制から月額制のプランまで、幅広いニーズに対応しています。運営スタッフやメンバーが企画する大小様々なイベントをきっかけに、多くのコラボレーションが生まれてきました。また週単位で利用可能なショーケース aiiiima は、個人のクリエイターから大企業まで、バラエティに富んだ出展者が新しい情報を発信する場として活用されています。



## MOV 市 –Neighborland–

### MOV メンバーによる仕事と働き方の見本市

元々「MOV市」は、「MOV」で顔なじみになった、いわば近所同士 (neighbor) の仕事内容を知るために始まった小さなイベントでした。メンバー数も増え、あまりにもユニークなメンバーの活動を「MOV」の外にも発信すべく、2016年からは年に一度のイベントとして、「MOV」のオープラウンジと「COURT」を開放し開催しています。メンバーが手掛ける最先端のサービスやプロダクト、アート、ワークショップ、ライブパフォーマンス等、働き方を模索するワーカーにはもちろん、ふらりと立ち寄った方にも楽しんでいただける体験型コンテンツが満載。1日で1,800人集客するイベントに成長しています。

● 会期: 2019年2月までに計6回開催 ● 来場者数: 2017年 1,000人 / 2018年 1,500人 / 2019年 1,800人  
● 出展ブース数: 累計201ブース



## MOV Channel

### MOV メンバーの活動を紹介するオウンドメディア

2017年の夏、WEBサイトをリニューアルしました。それまで運営してきた5年間で明らかになったのは、「MOV」の一番の魅力は施設でもサービスでもなく、ここで育まれたコミュニティと、それを形づくるメンバーだということでした。この魅力が伝わるWEBサイトに作り変えようと、「MOV」メンバーの中からプロ集団が結成されました。皆さんのプロフェッショナルリズムをエンジンに、長きにわたる議論と試行錯誤の後、新WEBサイトが完成。「MOV Channel」と名付けた独自のメディアを新設し、メンバーのユニークな活動や、「MOV」のリアルな空気感をお伝えできるよう、日々、情報を発信しています。

● リニューアル日: 2017年2月23日 <https://www.shibuyamov.com/channel/>

8/ が制作するクリエイティブ動画配信サイト

展覧会出展作家のインタビューや、日本のローカルなものづくりの現場ドキュメンタリー、開催イベントのレポート映像など、「8/」で行われる様々なクリエイションをタイムリーに発信する動画配信サイト。

<http://www.hikarie8.com/tv/>



# / SHIBUYA WANDERING CRAFT

「SHIBUYA WANDERING CRAFT」とは、「8」が毎年夏に開催する企画展。タイトルの「WANDERING」には、wonderful (驚き) と wandering (疑問) の2つの意味を込めています。毎年、1つのテーマのもとに集められた、クラフトイズムをもった商品が並ぶマーケットを中心に、関連するワークショップやトークセッション、展示などを実施しています。商品にふれ、つくり手の想いにふれることを通じて、発見し、考え、交流することを目的とした、渋谷ヒカリエ「8」ならではの物産展です。



COURT

**2012年度** ITOEN presents CREATIVE SESSION with JーWAVEー渋谷ヒカリエ開業記念特別企画ー / 安田美奈央・アラキー 音楽×映像コンサート「死の先にある生」ー音楽と写真のコラレーションー / シブヤ大学入学説明会 春の新入生入学案内です! / 「NIPPON DESIGN TRAVEL 展」開催記念トークイベント鳥塚亮(いずみ鉄道株式会社)×ナガオカケンメイ / D 勉強の会「わかりやすいウラフビール」ーニッポン47 プルワーー開催記念ー / Child Future Session ー子どもの視点で社会・世界を見てみよう / 渋谷東急イン アートワークデザイン コンテスト / 「北斎漫画」ー北斎が描いた江戸の森羅万象アーカイブを観る / シブヤ経済新聞文化センター「散歩の達人」編集長が明かす「ここだけの渋谷」 / デヴィット・リンチ短編映像 限定上映 / IDEA TALK 001 \*以後 2013 年度開催 / 宣伝会議 コピーライター養成講座 特別体験セミナー / 柳家花緑「ロングライフ落語会」d design travel TOKYO 発刊記念 \*以後定期的に開催 / NHK スーパープレゼンテーションイベント「Joi と 100 人の女性たち〜みんなで考える、これからの働き方〜」 / 40 人のハチ公トートバッグ展シブヤの40人がデザインする「ハチ公」チャリティープロジェクト / Japan Fashion Week \*以後定期的に開催 / CINEASTE3.0 デジタル時代の映像作家たち \*以後2013 年度開催 / 未来を創る宇宙塾 宇宙を使う 宇宙インバージョンによる未来デザイン / お笑いライブ&公開ネタ討論会「むじゃき」 # 1 \*以後2013 年度開催 / 渋谷真夜中の映画祭ー第零夜ー \*以後2013 年、2018 年度開催 / 月刊「プレーン」クリエイティブリレー トークセッション3 人の若手クリエイターがロッテ「ZEUS」の広告制作の舞台裏を語る! / ててて商店街 / HIKARIE XMAS ART FAIR 2012 \*以後 2013 年度開催 / ポストカードラボラトリー by シーラボラトリー \*以後定期的に開催 / みかわち焼 1000 題 1000 枚の豆皿市 \*以後毎年開催 / 白隠展「山下教授の特別課外授業」 / 山口情報芸術センター (YCAM) トーク & ワークショップ in 渋谷ヒカリエ / オランダのデザイナー、ユルゲン・ペイのトーク動く風景 / MONSTER Exhibition 2013 \*以後毎年開催 / Shibuya1000「MOYAI さんが行く」「洗濯」 \*以後定期的に開催 / **2013 年度** 青森りんごマルシェ / ピクニック MOV でフェスティバル大会 / 大地の芸術祭の里 春の市 \*定期的に開催イベントを開催 / JーWAVE xCHANGE CAFE @Shibuya Hikarie / 「テラダモク」でつくる1/100 の渋谷の街 / 小山登美夫のトーク・オブ・ジャパン「アジアの新世代アート」について / 「益子の食卓」市 / クリエイティブ・コミュニケーションコンベンション 2013 / Bunkamura X渋谷ヒカリエ summer craft collection 2013 \*以後定期的に開催 / my Japan Award 2013 世界の広告が学ぶ、まちの魅力を伝える映像の作り方 \*以後定期的に開催 / 「筋ぎ、染め、織る〜日本の技と心」東吾妻町・藍住町・愛荘町三町合同企画展「麻・藍・布」 / プロノフォーラム TOKYO 2013 \*以後 2014 年度開催 / Tokyo Work Design Week 2013 \*以後毎年開催 / 仙台・東北の出張 手しごと展 / ショコラ ZAKKA フェスティバル \*以後毎年開催 / インテリア アウトレットマーケット \*以後定期的に開催 / **2014 年度** 渋谷 de ハロキエティ記者発表会 / 「MEGASTAR-II」上映 \*以後 2015 年度開催 / Hikarie + PLANETS 渋谷セカンドステージ \*以後定期的に開催 / 洗濯 シブサン アクリル Project \*以後定期的に開催 / BAPA 展 / 「Fab で建てる小さな家」ワークショップ / TOKYO WANDERING CRAFT 2014 迷いと発見の物産展 \*以後 SHIBUYA WANDERING CRAFT として毎年開催 / 豊岡エキシビジョン 2014 ~豊岡から世界へ 芸術文化の発信ー MORE THAN PROJECT MATCHING FES / 第 1 回茶ッカ子 in Tokyo \*以後定期的に開催 / d SCHOOL わかりやすい昆蟲の話 / 紀里谷和明氏 映像作品発表会 / COVERED TOKYO / NIKKEI ART LOUNGE / 2020 年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展 \*以後毎年開催 / シブヤ散歩会議 2014 ~シブヤの魅力、散歩で発見! ~ \*以後定期的に開催 / Good Job! 展 2014 \*以後定期的に開催 / 技のヒット甲子園~技の市 / 日本茶 AWARD 2014「TOKYO TEA PARTY」 \*以後毎年開催 / 波佐見焼 DAYS OF KURAWANKA / エヴァンゲリオン 20 周年 ロンギヌスの槍を月に刺すプロジェクト 記者発表会 / MOV 市 vol.2 \*以後毎年開催 / シブヤ・インテリジェンス・ライブ 学びはクリエイティブだ! 学びとビジネスの交差点、全 4 日間、90 分ライブ。 \*以後毎年開催 / **2015 年度** 「春の小ネタまつり」 / 渋谷からベンチャーを応援するイベント「sprout!!」 \*以後定期的に開催 / 都市想像会議 第一回「マイノリティを都市」 \*以後定期的に開催 / BAPA 公開授業 卒業制作のための公開プレゼンテーション / d SCHOOL「わかりやすい印刷」デザインと紙と印刷 / てぬコレ 8 年記念 88 てぬワンダーマーケット / WEEKEND BASE 飾らない、暮らし \*以後定期的に開催イベント開催 / 岩谷光昭 写真展「ふるさとのこ」キャラリートーク / MORE THAN PROJECT MATCHING FES / 未来を拓くザ・職人たちー伝統工芸ふれあひ広場渋谷ヒカリエ 2015ー / Japan Brand Festival 2016 \*以後毎年開催 / 田島征三「空間絵本」写真集「学校はカラッポにならない」出版記念イベント / **2016 年度** モンスターズ&アンド ミスフィッツ4ー怪物と不適応者たちー / ジョブヨク@渋谷スペシャル / 良い食品博覧会 \*以後毎年開催 / 「開発好明によるモグラTV」渋谷ヒカリエ特設スタジオ / デコポコ自由研究 / SOMPO パラリンアート・サッカーアートコンテスト / レ・ロマネスクのヘッドホンコンサート第 0 回〜アプリとロ/口/レによる完全無音ライブ〜 / 秋山竜次 (ロバート) presents「クリエイターズ・ファミリア」展 / 地方創生 / ノベーター TalksーINSPIRE 8/COURT シリーズ \*以後定期的に開催 / GOOD DESIGN EXHIBITION 2016ーそねえるデザインプロジェクト展ー / SHINCLUB 展ー渋谷の建築展 200 か月間の記録ー / 「日本カワイイ大賞」ーJFN 公開録音ー地方創生 2020ー番組で紹介した「カワイイ」アイテムの中から大賞を決定! / サンロウカース渋谷 選手入団記者会見 / えどがわ伝統工芸×女子美術大学ー伝統工芸者と女子美生のコラボレーション作品展ー / GO KASAMASHIKO via TOKYO 理想のクラフト郷へー空間と益子の魅力ー / HAPPY WOMAN FESTA 2017 \*以後 2017 年度開催 / **2017 年度** 「シブピカ博 2017 交わり、動き出す、渋谷。」シブヤとストーリー \*以後毎年開催 / d SCHOOL「わかりやすい金曜日」 / Creema かえる COFFEE LIFE / ベンモリ・ジャングルワールド×シロクマ親子 北極×アフリカアニマル・ツアーーアート・ショー / フランスと日本、子どもの未来につながる、良いデザインとは / 「MIK」編集長イジス・コロンプ・コンプレクスマナガオカケンメイ トークセッション / ついにスタート! 北アルプス国際芸術祭 2017 東京ではここだけ! 注目の「北アルプス国際芸術祭」の特設インフォメーション / グッドライフカンファレンス 2017 エコソーシャルな地域社会をデザインする \*以後定期的に開催 / NIPPON の 47 人 2017 これからの暮らしかたーOff-Grid Lifeー オープニングトーク

/ 紀州漆器 KISHU+「手仕事×機械仕事×デジタル仕事」展 / made in Seto ~瀬戸ソクリテの手仕事~ \*以後毎年開催 / MERRY SMILE SHIBUYA for 2020 東京 2020 オリンピック パラリンピック競技大会に向けた #1000Days to Go ! 渋谷区文化プログラム / カンボジアを代表する現代アーティスト、ソビアッパ・ピッチーアーティストトック / Eugene Kangawa (THE EUGENE Studio) 東京工業大学融合技術論 基調講演 / とっとりを知ってもらう 3 日間とうきよの真ん中で “地方の子育て暮らし” を考える〜とどりの場合〜 / GOOD MAD 長田真作 原画展 / 渋谷の街をレゴ \* ブロックでつくる! / The 75th Anniversary HAPPY BIRTHDAY GEORGE / 渋谷から始める、スポーツを活用した未来づくり 2018 / 生き方見本市 U30 vol.1 \*以後定期的に開催 / **2018 年度** LISA LARSON POPーUP EVENT / 菅木志雄監督・脚本映画「存在と殺人」上映会 & トークショー / d SCHOOL「わかりやすい石けんと洗濯」d47 MUSEUM「47 REPAIR & CARE」展 関連イベント / 「渋谷でスポーツ文化を語る会」 ver.0 \*以後定期的に開催 / 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 2020 ミュージアム・オブ・トゥギャザー サークス / Tokyo Work Design Week 2018 動労に、感謝を。〜「仕事」を「私事」に変える、7 日間の働き方の祭典〜 / 渋谷の企業とクリエイターが交差する「Design Scramble 2018」 / 47 都道府県の発酵ツーリズム出発進行!「Fermentation Tourism Nippon」展関連トークショー / 新春 8! ~ハチ~ あそび / いいね! からつながるマーケット Instars「はつはる in hikarie/SNS のスター作家が大集合! SNS クリエイターズマーケット」

CUBE

**2012 年度** オープニング特別展 透明な混沌 / Crystal Chaos / 荒木経惟展「花ト恋人」 / 「北斎漫画」展 世界中のアーティストが注目したスケッチブック \*以後 2013 年度開催 / 森山大道 / 石川直樹 写真展「To Nirvana and Back」大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2012 開幕直前展 \*以後 2015、2018 年度関連イベント開催 / RADICAL SHOW 2012 京都造形芸術大学エマージングアーティスト展 \*以後 2013 年度開催 / 「Missing You」長島有里枝、野村佐紀子、鷹野隆大 写真展 / 大岩オスカルー Traveling Light / 長崎みかわち焼展 \*以後毎年開催 / 大巻伸朗ー More Lightー 瀬戸内国際芸術祭 2013 開幕直前展 \* 2015、2018 年度開催 / ウルトラン・オブジェクツ展「明日のヒカリエ」 / **2013 年度** MIGOTE The Slow Crafts Kagoshima / SHIBUYA VISION 進化するエンタテイメントシティ 渋谷ヒカリエ開業 1 周年記念特別建築展 / NEO COUNTER SHAPE ART SHOW \*以後定期的に開催 / ルーツ of Kawaii「内藤ルネデビュー 60 周年」 in Hikarie ~カワイイは、みんなナレからはじまった~ / PAPER GAME CENTER 紙のゲームからはじまるコミュニケーション展 / 百合 佐和子×金澤 正人「ユリカナレ」 by マジヨリカ マジヨリカ \*以後 2016 年度開催 / Tokyo Work Design Week 2013 \*以後毎年開催 / 津軽の伝統×DESIGN 展 / 「晴れたら市原、行こう!」中房総国際芸術祭 いちばろアート×ミックス 開催直前広報展 / 多摩美術大学大学院情報デザイン領域修了制作展 2014 / **2014 年度** NEWSED=NEW+USED / 原寸大! 日本の建築ディテール 1964→2014 / 東京カヌアラ部 2014 写真展 in Hikarie \*以後 2015、2017、2018 年度開催 / TOKYO WANDERING CRAFT 2014 \*以後 SHIBUYA WANDERING CRAFT として毎年開催 / BEN MORI KINGDOM 2014 / 斎藤清 モダニズムの横顔ー世界を魅了した版画家 \*以後毎年開催 / COVERED TOKYO: Hikarie, 2014 / 2020 年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展 \*以後毎年開催 / HOLY CLUB 世界のグラフィックアーティスト 100 人に選ばれた、YOSHIRTOTEN の部屋 / COLORED NOISE for 8/02/CUBE1,2,3 アラタニウラム、ナンツク、山本現代 合同企画展 / MONOPURI 実験室 実験テーマーインパクトー / UBE ビエンナーレ@渋谷ヒカリエー山口県宇部市、アートによる「人間/都市」再生への挑戦ー / 上出長右衛門窯「九谷焼コネクション」 \*以後 2016、2018 年度開催 / **2015 年度** I'm sorry please talk more slowly Hikarie Contemporary Art Eye vol.1 / 大宮エリー「painting dreams」 / 陶芸ー様々な姿ー Hikarie Contemporary Art Eye vol.2 / そこで見ている ミッシエル・ガン・エレファント ラストへン展 / PAPER MOVEMENT 紙が動く、心が動く展 / 美男・美女 Hikarie Contemporary Art Eye vol.3 / カールステン・コライー bausatz noto ∞ / 香川手袋 ラボ展 2016/AW Collectionー疾駆ー / **2016 年度** 10 人の現代美術作家×平野啓一郎「マチネの終わりに」作品展 / 計良 宏文×勲使 河原城ー Flowers ~わたしを咲かせなさいー / 「アウトサイダーアートの地帯」 Hikarie Contemporary Art Eye vol.4 / 越後妻有の人気 No.1、ジミー・リヤオ作品が渋谷に登場! / jikijiki 展ー有田で学び、九州を拠点に活躍する六人の若手陶磁器作家集団「jikijiki」 ~ \*以後毎年開催 / 創作展「日本を包む」展 つくし日本語のパッケージ \*以後 2018 年度開催 / GOOD DESIGN EXHIBITION 2016ーそねえるデザインプロジェクト展ー / CJSTORE2016@ 渋谷ヒカリエ \*以後定期的に開催 / GOOD ROCKS! 10th Anniversary PHOTO EXHIBITION / 写真展「2017NUDE コラボ エナジー」女優・山崎真とカハラマン・アンディ チヤオ、奇跡の邂逅 / 版画表現の豊かな魅力 Hikarie Contemporary Art Eye vol.5 / YouFab2016 受賞作品展示会「デジタルとフィジカルを横断し、結合する創造性= Fab (ファブ)」 / **2017 年度** 片桐敦展「SACRIFICE」~福島第一原発 30km 圏内の花たちが語る言葉ー Hikarie Contemporary Art Eye vol.6 / 菅木志雄ー 70 年代、80 年代の仕事から / 奥能登国際芸術祭 2017 開幕直前展 / ポスト・リビングルーム / UNCONTROLLED TYPES by Plotter Drawing / 笠井爾示写真展「東京の恋人」 / 僕らが好きな器を持って沖縄からやってきました。 moigmona no zakka 移動店 東京、渋谷にて / SHIBUYAー TOKYO CURIOSITY / 日本六古窯「古丹波の美」展ー日本民陶の歴史を語る古丹波を今ここにー Hikarie Contemporary Art Eye vol.8 / 8/ 展 渋谷ヒカリエにある「ハチ」のごと / 「ひゅーVIEW ビュー」展 / **2018 年度** 野村佐紀子写真展 十代目松本幸四郎「残夢」 / through the glasses Hikarie Contemporary Art Eye vol.9 / Super Graphics 菊竹雪の雪ースーパーグラフィック / ソフビレゾー / INK de JET! JET! JET! 3 UV Inkjet Printing Exhibition / 東南アジアのコンテンポラリーアーティスト 8 人 Hikarie Contemporary Art Eye vol.10 / SHIBUYA AWARDS EXHIBITION DECADE 第 10 回渋谷芸術祭 2018 特別展 / 「FORMY」 Rafal Bujnowski / Michelle Rawlings Hikarie Contemporary Art Eye vol.11

過去実績より抜粋して掲載



Activity Reportの制作を通して、これまでの7年間を振り返るなかで、これほど多くの企画が開催されてきたことに、感慨深い気持ちになりました。それぞれの企画に、関わる人たちの強い想いが込められていること、その想いに共鳴するコミュニティが生まれて育っていくこと、そして、そんな人たちによって「8」はつくり、そのつながりこそが「8」の財産なのだ、あらためて感じました。

「8」というネーミングには、「つなげる意志を持った8階」という意味が込められています。これからも、たくさんの人たちとの素敵な出会いとつながりを大切に、一緒に新しい可能性を探りながら、「Creative Space 8」をつくっていきたいと思っています。

8/ Activity Report 2012–2018

2019年5月20日 発行

編集・発行 渋谷ヒカリエ「8/」  
〒150-8510 東京都渋谷区渋谷 2-21-1 渋谷ヒカリエ 8F  
03-6418-4718  
<http://www.hikarie8.com/>

協力 株式会社アートフロントギャラリー  
コクヨ株式会社  
小山登美夫ギャラリー株式会社  
ディアンドデパートメント株式会社  
東京急行電鉄株式会社

Printed in Japan

本誌掲載の写真・記事の無断転載を禁じます。

Copyright©2019 SHINBUYA HIKARIE 8/. All rights reserved.



- 01/ COURT
- 02/ CUBE 1, 2, 3
- 03/ ART GALLERY / TOMIO KOYAMA GALLERY
- 04/ d47 MUSEUM / D&DEPARTMENT PROJECT
- 05/ d47 design travel store / D&DEPARTMENT PROJECT
- 06/ d47 SHOKUDO / D&DEPARTMENT PROJECT
- 07/ Creative Lounge MOV / KOKUYO

# 8 /